

# ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(2025年1月分)

2025年2月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

## 目次(以下は主なトピックを抜粋)

### 1. 国内情勢

#### (1) 国家レベル

- [RS国民議会の結論の一部の履行を禁じるボン・パワー行使\(2日\)](#)
- [ネシッチ治安大臣の辞任\(23日\)](#)
- [国政における対立激化\(23日～\)](#)
- [EU加盟関連重要法案の採択\(30日\)](#)

#### (2) エンティティ、特別区

##### ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

- [最低賃金引き上げへの抗議集会\(22日\)](#)

##### イ スルプスカ共和国(RS)

- [「RSの日」祝賀行事の開催\(9日\)](#)
- [RS歴史教育カリキュラムへの違憲判決\(23日\)](#)

### 2. 外政

#### (1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

- [EUFOR司令官の交代\(22日\)](#)

#### (2) 二国間関係

- [RS閣僚等への米国の制裁\(17日\)](#)
- [チェコ大統領のBH訪問\(23～24日\)](#)

#### (3) 日・BH関係

- [相木大使による信任状の捧呈\(15日\)](#)
- [ベチロビッチ大統領評議会メンバー表敬\(21日\)](#)
- [コナコビッチ外相表敬\(28日\)](#)

### 3. 経済

#### (1) 経済指標(出典: BH統計局)

#### (2) 経済政策・公共事業

#### (3) 経済協力

#### (4) 民間セクター

(注: この月報は、当地紙報道などの公開情報を取りまとめたものです。)

## 1. 国内情勢

### (1) 国家レベル

#### ●RS国民議会の結論の一部の履行を禁じる ボン・パワー行使(2日)

2日、シュミット上級代表はボン・パワーを行使し、12月24日にRS国民議会が採択した一連の結論が Dayton 和平合意付属文書4及び10に定められたRSの義務に反するとして、右結論の一部の履行(欧州統合及びBH政府の意思決定プロセスへのセルビア系の参加停止、シュミット上級代表の決定により生じた齟齬の解消、ドディックRS大統領の裁判所からの召喚拒否の正当化等)を禁止する決定を行った。

#### ●ネシッチ治安大臣の辞任(23日)

23日、ネシッチ治安大臣(セルビア系)は「道徳的理由」として辞任を表明した。同大臣は昨年12月にRS道路公社総裁時代の汚職容疑で逮捕されており現在も収監中で、23日には下院で解任に係るイニシアティブの投票が行われた。辞任表明は投票の直前に行われたが、投票は予定通り実施され、賛成多数で可決された。

#### ●ラドノビッチBH下院第二副議長の解任 (23日)

23日、BH下院においてラドノビッチ同第二副議長(セルビア系)の解任に関するイニシアティブの投票が行われ、賛成多数で可決。同副議長は解任された。後任は未決定。

#### ●国政における対立の激化(23日～)

23日、BH下院においてEU加盟に関する重要2法案(国境管理法、個人情報保護法)の採択に係る投票が行われ、SNSDが反対したものの賛成多数で可決。この投票行動を受け、トロイカはSNSDとの連立解消を発表。

これを受け、ドディックRS大統領はイゼトベ

ゴビッチSDA党首と電話したことを明かし、同党との対話に前向きな姿勢を示した。

27日には、SDA及びDFが麻薬カルテルとの繋がり、汚職事件との関わり及びEU・西バルカンサミットの開催延期等を理由に、コナゴビッチ外相の解任イニシアティブを下院に提出した。

#### ●EU加盟関連重要法案の採択(30日)

30日、BH上院において、23日に下院で採択されたEU加盟関連の重要法案(国境管理法及び個人情報保護法)の承認に関するセッションが行われ、いずれの法案も賛成多数で承認された(ボシュニャク系野党議員4名のみ反対もしくは棄権し、他は全員が賛成)。

### (2) エンティティ、特別区

#### ア ポスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

##### ●最低賃金引き上げへの抗議集会(22日)

22日、サラエボのBH連邦政府前で、BH連邦政府による最低賃金引き上げ決定に反対する雇用主団体の抗議集会が行われた。雇用主は引き上げ自体には反対しないものの、社会保障費が高く企業活動に悪影響があると反対しており、再度の見直しを求めたほか、ニクシッチBH連邦首相の退陣及びノバリッチ前首相(汚職容疑で逮捕)の復帰を求める参加者もみられた。デモは正午から約30分継続し、参加者は約2000人と報じられている。

#### イ スルブスカ共和国(RS)

##### ●「RSの日」祝賀行事の開催(9日)

9日、RSが樹立を宣言した記念日であり、BH憲法裁判所により違憲判決が複数回出されている「RSの日」の祝賀行事が行われ、パニャルカでは警察官及び学生等によるパレードが実施された。今般の祝賀にはプチェビッチ・セルビア首相及びブルナビッチ同議会議長等のハイレベルがセルビアから参加しており、こ

れを受けてBH外務省はセルビアに抗議書簡を発出した。また、コナコビッチBH外相は紛争犠牲者遺族団体の支持のもと、BH閣僚評議会に対して1月9日を追悼の日とするイニシアティブを提出。これに対し、BH下院のSNS D議員団は同外相の解任を求めるイニシアティブを立ち上げ、下院に提出した。

### ●RS歴史教育カリキュラムへの違憲判決(23日)

23日、BH憲法裁判所は、RSの9年生(日本の中学3年生に相当)向け歴史教育プログラムの一部(ボスニア紛争を含む1991年~1995年についての記述)を違憲とする判決を下した。憲法裁判所は、教科書の記述がセルビア系以外の民族の視点を欠き、多文化理解を促進するとの原則に背いていると述べている。

判決を受け、ドディックRS大統領は引き続き現行カリキュラムによる教育を続けていく旨強調した。

## 2. 外政

### (1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

#### ●EUFOR司令官の交代(22日)

22日、EUFOR司令官交代式がサラエボのブトミル基地で開催され、1年間の任期を務めたシュティッツ前司令官(ハンガリー出身)から、バルブ新司令官(ルーマニア出身)に職務が引き継がれた。シュティッツ前司令官は、昨年4月と9月の2回にわたる予備部隊の増強を含め、1年間の任期で多くの活動ができた振り返り、10月の洪水被害での捜索・救助活動をはじめ、国内部隊及び各レベル政府の能力強化に資することができた述べた。

バルブ新司令官は、シュティッツ前司令官の

達成した成果に祝意を述べ、自らの任期においても専門性をもって任務に力を注いでいく旨強調した。

### (2) 二国間関係

#### ●RS閣僚等への米国の制裁(17日)

17日、米国財務省はドディックRS大統領及び同人家族等への資金の流入に関連した5名及び1社への経済制裁、また2024年の「RSの日」祝賀行事に関連したカランRS内相、パニッチRS政府長官、セルマンRS憲法裁判所長官等8名への経済制裁を発表した。祝賀への関与のほか、カランRS内相及びパニッチRS政府長官は、ドディックRS大統領の指示のもと、RSの分離計画を起草するワーキンググループのメンバーを務めていたとされている。

#### ●ブルキッチ外務副大臣のウクライナ・南東欧外相会合出席(17日)

17日、ブルキッチ外務副大臣はキーウで開催されたウクライナ・南東欧外相会合に出席。ゼレンスキー大統領及びミシエンコ外務副大臣と面会したほか、会合のスピーチにおいて、ウクライナの主権及び領土一体性と国際的に認められた国境を尊重する旨改めて強調しつつ、本年がデイトン和平合意30周年となることにも触れながら、ウクライナに一刻も早く平和が訪れることを願っていると述べた。

#### ●チェコ大統領のBH訪問(23~24日)

23~24日、パヴェル・チェコ大統領がBHを訪問し、大統領評議会3メンバー、ヘレズ国防大臣等と会談した。大統領評議会との会談ではツビヤノビッチ議長がBHに安全保障上の脅威はなく、政治的不協和のみがみられるものの、EU加盟を目指す姿勢は一致していると述べたのに対し、ベチロビッチ同ボシュニャク系メンバーは安全保障上の問題を抱えていると強調した。その他、諸会談では両国間の経

済関係の強化、武器産業における協力可能性等に関する意見が交わされた。

●フランゲシュ・スロベニア西バルカン特使のRS訪問(29日)

29日、フランゲシュ・スロベニア西バルカン特使がバニャ・ルカを訪問し、ツビヤノビッチBH大統領評議会議長(セルビア系メンバー)と会談。主にEU加盟プロセス及び西バルカン情勢につき意見を交わした。ツビヤノビッチ議長は、BHの各レベル政府の憲法に定められた立場を尊重し、一体となってEU加盟を目指すことが肝要であると強調した。

(3)日・BH関係

●相木大使による信任状の捧呈(15日)

15日、相木駐BH大使はツビヤノビッチBH大統領評議会議長に信任状を捧呈した。相木大使は、日・BH協力を政治・経済等の二国間関係においてのみならず、国際的な課題に関連して強化していきたいと述べたのに対し、ツビヤノビッチ議長は、BHが困難な時期から最大のドナーの1つである日本との関係を様々な分野で発展させていきたいとの期待が表明された。



(写真:相木大使とツビヤノビッチ議長)

●ベチロビッチ大統領評議会メンバー表敬(21日)

21日、相木駐BH大使はベチロビッチBH大統領評議会ボシュニャク系メンバーに着任表敬を行った。会談において両者は、日・BHは自由、民主主義、法の支配という基本的価値を共有するパートナーであり、日・BHが、2026年の外交関係開設30周年の機会も捉えつつ、二国間及び国際場裏での協力を強化していくことで一致した。



(写真:会談の様子)

●コナコビッチ外相表敬(28日)

28日、相木駐BH大使はコナコビッチBH外相に着任表敬を行った。会談では、BHが西バルカンの安定に果たす役割及び同国のEU統合の重要性について意見を交わし、相木大使からは、日本がBHの主権と領土一体性を支持し、引き続き同国のEU加盟に向けた社会経済改革を後押ししていくとの意志を改めて強調した。



(写真:会談の様子)

### 3. 経済

#### (1) 経済指標(出典: BH統計局)

##### ●産業生産指数

2024年12月の産業生産指数は、季節調整後数値で前月比2.1%のマイナス。また、前年同月比2.3%のマイナス。

##### ●雇用／失業率

2024年11月の失業者登録数は32万1,912人(うち女性19万787人)で、前月比で0.4%マイナス、前年同月比で6.6%マイナス。

##### ●平均給与

2024年11月の平均給与(手取り)は1,406KMで、前年同月比で7.8%のプラス。

##### ●消費者物価指数

2024年12月の消費者物価指数は前月比0.4%のプラス。また、前年同月比で平均2.2%の上昇。食料品・ノンアルコール飲料の価格は前月比0.9%のプラス。

##### ●貿易収支

2024年1月～12月のBHからの輸出総額は160.75億KM(前年同期比3.7%減)、BHへの輸入総額は286.54億KM(前年同期比3.2%増)。貿易収支は125.8億KMの赤字。

#### (2) 経済政策・公共事業

##### ●BH連邦における最低賃金引き上げ(13日)

BH連邦政府は2025年の最低賃金を619KMから1000KMへ引き上げる決定を行った。労働組合は、最低賃金の従業員2名では4人世帯の毎月の支出総額を賄うことは不可能であったとして、BH連邦政府の最低賃金引き上げの決定を支持しているが、雇用主団体は最低賃金額には反対していないものの、BH連邦の社会保障費が高すぎることを批判しており、雇用者負担軽減のための救済措置の導入を求めている。

##### ●電力輸出額の減少(22日)

2024年のBHから国外への電力輸出量は2.5TWh(前年比-36%)であり、金額にして4.85億KM(前年比-42%)。他方、輸入は5.9TWh(前年比+57%)。

BHの2024年の電力の総生産量は14.3TWh(前年比-8%)。

生産量減少の主要因は水不足であると考えられており、2024年の水力発電による電力生産は4.7TWh(前年比-25%)。火力発電は8.4TWh、風力及び太陽光は1.2TWhで、前年と同水準。電力の消費量は11.3TWh。

##### ●サラエボ～プロチェ間の鉄道復旧(30日)

30日、BH連邦鉄道は、昨年10月の洪水で被災したドーニャ・ヤブラニツァ近郊の線路の復旧工事が完了した旨発表した。被災により、サラエボ～モスタル～チャプリナ～プロチェ(クロアチア)間の鉄道路線は昨年10月4日以降不通となっていたが、2月10日より運行が再開される予定。

#### (3) 経済協力

##### ●EUによる雇用促進プロジェクト(30日)

女性、若者、社会的弱者、長期的な失業者等への雇用創出を目的としたEUによる新規プロジェクト「EU4Employment in Bosnia and Herzegovina」の立ち上げが発表され、30日にサラエボでプロジェクト紹介のためのイベントが実施された。同プロジェクトは11800名のリスキリング及びスキルアップに資することが見込まれており、規模は550万ユーロ。

#### (4) 民間セクター

##### ●ショット・ショーへのBH企業の初出展(23日)

1月21日～24日に米ラスベガスで開催された世界最大規模の射撃・狩猟・銃器関係の展

示会「ショット・ショー」に、BHから Unis Ginex (ゴラジュデ) 及び Igman(コニツツ)の2企業が初出展した。ラキッチBH連邦エネルギー・鉱業・産業大臣は、今般の出展は大きな成功であり、BH連邦の武器産業に新たな可能性をもたらすものであると歓迎した。

●小売店ボイコット運動(31日)

31日、消費者団体の呼び掛けにより、BH全土で物価の上昇に抗議するための小売店、ガソリンスタンド、飲食店に対するボイコット運動が行われた。同様のボイコット運動はクロアチアにおいて広く行われているものであり、BHにも波及した形となる。同日のボイコット運動はクロアチア、BHのみならずセルビア、北マケドニア及びモンテネグロでも行われた。